

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

ヤクスギランドに行つたよ

神山小学校 五年 福島 春花

「ついた。や」とだ。

私の家の尾え間からヤクスギランドまでけ  
こう長い。曲がり道が多く、車がけこう  
ゆれるから、よいそうになりました。でも、  
ヤクスギランドは、すずしくて、気持ちよか  
たから、気分がよくなつてきました。今日  
は、お父さんと、弟の太郎の三人でヤクスギ  
ランドに来ました。おべんとうを、お父さん  
からもらつて登り始めました。

登っているときに、お父さんが

「ゴミ見つけた。」

と、拾つたゴミを持ってきていたふくろに入  
れました。お父さんは、  
「山に登るとき、いつもこういうふくろを持  
つてきているんだよ。」

と言いました。わたしは、山に登るたびに、

ゴミを拾っているなんてすごいなと思いまし  
た。

No. 1

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

( ) 月 日 曜日

弟の太郎は、先頭で登ってしまいました。でも  
 ときどき道をまちがえて、あわててもどって  
 きていました。  
 昼ごはんは、おりかえしの場所にある。あ  
 ずま屋という所で食べました。山の中で食べ  
 るおべんとうは、とてもおいしかったです。  
 そのあと、あめを一つみんまで食べました。  
 帰ると中に、つつじがはらという場所があ  
 りました。わたしが、  
 「どんな所。」  
 と聞くと、お父さんが、  
 「大きな川がある所だよ。」  
 と言いました。太郎がまず最初に手をあらお  
 うとしました。すると、太郎が岩ですべって  
 川に落ちてしまいました。そして、太郎をた  
 すけようとしたお父さんもすべってしまいま  
 した。やっと太郎が岩の上にひっぱられると、  
 びしょびしょになっ、ていました。きがえをも  
 っ、てきていたので、よかったです。  
 出口の近くに、もう一つ川がありました。

No. 2

- 3 詩はどの行も三はんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

( 月 日 曜日 )

わたしは、  
 「行けるの。」  
 と言「たら、お父さんは、  
 「行けるよ。」  
 と言いました。まず、くつをぬいで、はだし  
 で入りました。川の水は、すぐくつめたかっ  
 たです。川はあさか「たので、石とかを使っ  
 て水路を作りました。あなをほ「てすなの  
 かべを作「たら、水を流す所を石と石で作「て  
 くずれないようにしました。たくさん水を流  
 す所を作「たので、水はきれいなままでした。  
 こ「んどきたときも、この川で遊「びたいです。  
 そのときは、も「と大きい水路を作「りたいで  
 す。ヤウスギランドは、下よりす「しくて、  
 自然がたく「さんあ「て気持ちよ「たです。  
 また行「きたいです。

No. \_\_\_\_\_

- 3 詩はどの行も三はんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

